

五日市高等学校令和5年度 国語科 現代文B 年間授業計画

教科：国語科 目：現代文B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～D組

使用教科書：(数研出版「新編 現代文B」)

使用教材：(新編現代文B 準拠ワーク、プリント教材)

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス			1
	弱いつながり	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 文章を読んで批評することを通して、社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間軸にそって述べられる内容を、そのまとまりごとに読み取っている。【読】(記述の確認) 筆者の旅に対する思いの強さを、本文の表現を踏まえて理解している。【読】(記述の確認) 	2
5月	弱いつながり	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 文章を読んで批評することを通して、社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間軸にそって述べられる内容を、そのまとまりごとに読み取っている。【読】(記述の確認) 筆者の旅に対する思いの強さを、本文の表現を踏まえて理解している。【読】(記述の確認) 	8
6月	鞆	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、人物像、比喩などを的確にとらえ、表現を味わう。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の人物像や関係性を正しくとらえている。【読】(記述の確認) 場面ごとの「私」の心情変化を読み取っている。【読】(記述の分析) 「鞆」が何を表しているのか比喩の中身について理解している。【知・理】 	6
	「内的成長」社会へ	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで批評することを通して、人間、社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 語句の意味、用法を的確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「中間社会」の現状と課題をそれぞれ箇条書きにしてまとめている。【読】(記述の分析) 哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解している。【知・理】(記述の確認) 	4
	1学期の振り返り	自己評価シートを記入し、1学期の自分の勉強を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 日常の勉強や考査前の勉強の仕方を振り返り、今後に生かす。 	2

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月			かぞうどしている。【書】	
8月				
9月	進化と適応	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで批評することを通して、人間、社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 語句の意味、用法を的確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会課題をそれぞれ箇条書きにしてまとめている。【読】(記述分析) 哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解している。【知・理】(記述の確認) 	8
	ホンモノのおカネの作り方	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係と、それぞれの段落の要旨を的確にとらえている。【読】(記述の分析) カタカナ表記のもたらす表現上の効果を理解している。【知・理】(行動の点検) 逆説的な表現の内容をとらえている。【知・理】(記述の点検) 	8
10月	発車	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 詩に描かれている情景を、語句や表現に注意して読み「わたし」の心情を的確にとらえている。【読】 象徴的な表現の内容を理解している。【知・理】 	2
	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現に注意して読み、心情を的確にとらえている。【読】 詩の表現について、視覚的な工夫と、聴覚的な工夫をとらえている。【知・理】 	4
	俳句	<ul style="list-style-type: none"> 俳句を読んで、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 十七文字のリズムや切れ字をふまえて俳句を読んでいる。【読】(行動の観察) 作品から感じ取ることができる発想の豊かさ、構成や展開の工夫、表現の特色などをとらえ、適切な表現の仕方でも鑑賞文を書いている。【書】(記述の分析) 季語を正しく示している。【知・理】(記述の確認) 	4
	ひよこの眼	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、場面展開を的確にとらえる。 場面ごとの登場人物の心情変化を、理由とともにおさえる。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「私」から見た幹生の人物像。作品全体を通しての「私」の人物像を、的確にとらえている。【読】(記述の確認) 時間の流れに注意して読み、場面ごとの「私」の心情を、理由とともに把握している。【読】(記述の分析) 字形の似た漢字を正しく書き分けたり、慣用句を用いた文を作っ 	8

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	朝のヨット	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 	<p>たりしている。【知・理】(記述の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「少年」の心情を表現に即して読み取り、異なる立場から読み深めている。【読】(行動の分析) 「山月記」と比較し、構成の類似点と相違点を理解している。【知・理】(行動の観察) 	2
12 月	胆力について	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 語句の意味、用法を的確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を確かめ、「『驚き』が知的探究を動機づける」という主張の内容を的確にとらえている。【読】(記述の分析) 慣用句の意味と用法を的確に理解し、作文している。【知・理】(記述の点検) 逆説的な表現の内容をとらえている。【知・理】(記述の点検) 	4
	2学期の振り返り	自己評価シートを記入し、2学期の自分の勉強を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 日常の勉強や考査前の勉強の仕方を振り返り、今後に生かそうとしている。【書】 	
1 3 月	表札	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで批評する。 語句の意味、用法を的確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な表現の内容を的確に説明し、筆者の着眼点のおもしろさをまとめている。【読】(記述の分析) 慣用句の意味と用法を的確に理解し、説明している。【知・理】(記述の確認) 逆説的な表現の内容をとらえている。【知・理】(記述) 	4
	3年間の振り返り	自己評価シートを記入し、3年間の自分の勉強を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 日常の勉強や考査前の勉強の仕方を振り返り、今後に生かそうとしている。【書】 	3

都立五日市高等学校(全日制) 令和5年度授業計画

教科・科目	公民 政治・経済	2単位	教科担任	
対象学年・学科 授業形態等	3年普通科		使用する 教科書等	改訂版 政治・経済 (数研出版)

【科目の目標】

- 政治経済の学習を通じて、多角的・多面的な視点を養う。
- 政治経済に関する問題を身近なものとしてとらえ、興味・関心を高め、自分の考えを表現する力を培う。

【主な学習内容】

学期	単元と配当時数	学習内容と重点項目
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●政治と法の機能 ●人権保障と法の支配 ●日本国憲法の原則 ●平和主義と自衛隊 (19時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と社会、政治と国家 ・国家の役割、国家と法の関係 ・権力分立(三権分立) ・基本的人権の成立と、新しい人権 ・日本国憲法の原則と、違憲審査制
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●国会の組織と立法 ●内閣の機構と立法 ●裁判所の機能と住民の権利 ●政党政治と選挙制度 ●民主政治における世論の役割 (27時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・国会のはたらき(国会中心主義) ・内閣のはたらき ・日本の裁判制度 ・日本の政党政治の歴史(現存する政党を中心に) ・日本の選挙制度
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●経済社会の発展 ●経済主体と経済活動 ●市場経済の機能の限界 ●経済成長と景気変動 (7時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済とは何か ・資本主義経済の確立と弊害 ・3つの経済主体(政府、家計、企業の関係) ・競争と独占・寡占、市場の失敗 ・国民所得の構成と、景気変動

【評価の観点と方法】

- ・定期考査は5回実施予定。
- ・定期考査の得点と、日ごろの学習(提出物、授業態度など)を総合して評価する。

【学習者への注意】

- ・生徒の興味・理解の状況により、授業内容や進度・取り上げる順序を変更することがある。
- ・授業では、得意不得意に関係なく、自分なりに課題意識を持ち、積極的に取り組んでほしい。

五日市高等学校令和5年度 教科保健体育科目体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3単位

対象学年組：第3学年A組～D組

使用教科書：（最新保健体育(大修館)アクティブスポーツ2022）

使用教材：（学習ノート、ワークシート、タブレット、各種目物品）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	●体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○体ほぐしの運動	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	
	○実生活に生かす運動の計画	実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3
5月	●陸上競技	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保することができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	4
	○500m走・1000m・1500m・ハードル走	短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡りで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	2
	○走り幅跳び・走り高跳びの記録測定	走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
6月	●球技	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	4
	○バドミントン（ネット型）	場面に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	4
	・基本練習と試合	サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。試合ではシャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	5
7月	●水泳	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保することができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○平泳ぎ	平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	
	○ソフトボール(ベースボール型)	状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	4
7月	・基本練習と試合	バット操作では、狙った方向にボールを打ち返すことができる。ボール操作では、捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	4
	バドミントン 基本練習と試合	サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。試合ではシャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	○クロール	クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	4
	○選択（ボルダリング・テニス・ニュースポーツ）選択した種目ごとに基本練習と試合	各自の希望する種目を選択し、その種目ごとに活動計画を立て、自主的に運営することができる。		3
8月				
9月	○背泳ぎ	背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○バタフライ	バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	3
	○体育祭練習 (100m走・リレー・大縄跳び)	短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	5
10月	○持久走 (マラソン大会に向けての練習)	長距離走では、自己に適したペースを維持して走ったり、自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	5
	●体育理論		○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	4
	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3
11月	○ソフトボール ・基本練習と試合	バット操作では、狙った方向にボールを打ち返すことができる。ボール操作では、捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。		3
	○持久走 (マラソン大会に向けての練習)	長距離走では、自己に適したペースを維持して走ったり、自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	4
11日	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	3

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	○ソフトボール ・基本練習と試合	バット操作では、狙った方向にボールを打ち返すことができる。ボール操作では、捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3
	○サッカー (基本練習と試合)	・ ボールを蹴る、止める、運ぶ及び保持するといった安定したボール操作を身に付ける。空間を作り出すなどの連携した動きによって攻防を展開できるようにする。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○バスケットボール (基本練習と試合)	ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、味方が操作しやすいパスを送ったり等の安定したボール操作と守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする等の空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	3
	○選択(バレーボール・卓球・アルティメット) 選択した種目ごとに基本練習と試合を実施する。	各自の希望する種目を選択し、その種目ごとに活動計画を立て、自主的に運営することができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3
1月	○サッカー (基本練習と試合)	サッカーに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たすことができるようにする。けがを未然に防ぐため自己の体調や周りの状況を判断し、健康・安全を確保できるようにする。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○バスケットボール (基本練習と試合)	ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、味方が操作しやすいパスを送ったり等の安定したボール操作と守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする等の空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	3
2 5 3月	○選択(バレーボール・卓球・アルティメット) 選択した種目ごとに基本練習と試合を実施する。	各自の希望する種目を選択し、その種目ごとに活動計画を立て、自主的に運営することができる。	○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3
	○サッカー (基本練習と試合)	個人の技術やチーム戦術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動をするための取り組み方を工夫できるようにする。	○【知識及び技能】 定期考査・実技テスト	3
	○バスケットボール (基本練習と試合)	ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、味方が操作しやすいパスを送ったり等の安定したボール操作と守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする等の空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	3

年間授業計画

東京都立五日市高等学校 令和5年度 教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～D組

使用教科書：(COMET English CommunicationⅡ(数研出版)・Viva! English CommunicationⅢ(第一学習社)

使用教材：MEW Exercise Book Expansion1400(いづな書店)・『日常を英語でImagine, Write, Listen』・『らくらく英作文』(PEN言語教育サービス)

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・Lesson 11 Win for Our Nation ・朝の起床の場面 ・MEW1400 Week 1	・南アフリカの大統領となったネルソン・マンデラがラグビーを通して、国を1つにした背景や思いの概要を読み取り、要約する。 ・知覚動詞を用いた英文の構造と使い方について学ぶ。 ・朝の起床の場面を英語でスピーチする。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト	10
5月	・Lesson 11 Win for Our Nation ・洗面の場面 ・MEW1400 Week 1 存在・つながり・変化を示す単語 ・知覚動詞・仮定法を用いた英作文 ・中間考査・中間考査の振り返り	・英文の内容に関するQ/Aに答える。 ・英語の構造を意識して英文をチャンクごとに読解し、音読練習して英語の語順を体得する。 ・洗面の場面を英語でスピーチする。	・ペアワークへの取り組み度 ・実技テスト(発表) ・単語の小テスト ・中間考査の振り返りの記入(Classi)	15
6月	・Lesson 10 Ban Shigeru, Architect of Paper ・MEW1400 Week2・3 ・モノの移動などを示す単語 ・朝食前の場面、朝食の場面	・世界で活躍する日本の建築家の想いを読み取り、ルワンダでの社会貢献活動や阪神淡路大震災での取り組みについて読み取る。 ・英語の構造を意識して英文をチャンクごとに読解し、音読練習して英語の語順を体得する。 ・関係副詞を用いた英文の構造と使い方について学ぶ。 ・朝食前の場面、朝食の場面を英語でスピーチする。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ペアでの音読練習の様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト ・小テスト	20
7月	・期末考査、期末考査の振り返り ・Lesson 12 From Small Factories to the World ・通学の場面 ・【特別授業】ルダシングワ真美氏&ガテラ氏による講演会 ・1学期の振り返り	・日本の小さな工業で作られている製品が世界的に注目を集めていることを読み取る。 ・通学の場面を英語で言えるようにする。 ・英語の構造を意識して英文をチャンクごとに読解し、音読練習して英語の語順を体得する。 ・ルワンダで義肢装具士として活躍されている日本人とルワンダ人のお話を聞き、ルワンダ内戦のことや日本とのつながり等についてより深く学ぶ。 ・1学期の英語の授業で学んだことを振り返る。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト ・小テスト ・ワークショップでの質疑応答 ・振り返りの記入(Classi)	15
8月	【夏季休業中】 ・英検2級&準2級対策講座	・上級学校進学希望者を対象に、英語講習を行う。		
9月	・Lesson 2 Proverbs in English and Japanese ・MEW1400 Week 4 他者とのやりとりを示す単語 ・電車の中の場面 ・to不定詞を用いた慣用構文	・日本と英語のことわざで使われる語彙の違い等に着眼した文化差を述べた英文を読んで、概要をつかむ。 ・本文で述べられているもの以外にも似た事例がないか調べる。 ・英文の内容に関するQ/Aに答える。 ・英語の構造を意識して英文をチャンクごとに読解し、音読練習して英語の語順を体得する。 ・電車の場面を英語でスピーチする。 ・too～to構文、enough to～構文、in order to構文などを用いた英作文を書く。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ペアでの音読練習の様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト ・小テスト	20
10月	・Lesson 3 Dogs can't stand that ・MEW1400 Week 5 他者とのやりとりを示す単語 ・登校の場面 ・中間考査 ・中間考査の振り返り	・人間の行動の中で、犬が嫌がることについて述べた英文を、イラストなどを参考にしながら、概要を読み取る。 ・英文の内容に関するQ/Aに答える。 ・英語の構造を意識して英文をチャンクごとに読解し、音読練習して英語の語順を体得する。 ・電車の場面を英語でスピーチする。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ペアでの音読練習の様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト ・小テスト ・中間考査の振り返りの記入(Classi)	15
11月	・Lesson 4 Where Is Our Hotel? ・MEW1400 Week 5 他者とのやりとりを示す単語 ・登校の場面 ・スピーチコンテストに向けた練習 ・受動態を用いた英作文	・日本人にとってのあたりまえが外国人にとっては理解しがたいことを、地図記号の意味から探り、概要を読み取る。 ・どのように地図記号を改良したら、外国人にとってわかりやすいかを提案する ・登校の場面を英語で表現する。スピーチコンテストに向けた英文素材を選び、暗唱できるようにする。 ・助動詞+受動態を用いた英文に慣れ、簡単な英文を作成できるようになる。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ペアでの音読練習の様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト ・小テスト	20
12月	・期末考査 ・Lesson 5 The Fox and the Grapes ・MEW1400 Week 6 促進・援助、抑制・禁止を示す単語 ・3学年スピーチコンテスト	・英語の慣用句の中に、昔の物語が語源となったものがあることを英文の中から読み取る。 ・生徒の身の回りの日常のことを英語で、イントネーション・ジェスチャー・声の大きさなどを意識して、暗唱して英語で伝える。	・期末考査の振り返り(Classi) ・ペアでの音読練習の様子 ・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・実技テスト(スピーチ) ・小テスト	10
1月	・Lesson 7 Can AI Go Beyond Humans? ・MEW1400 Week 7 知覚・認知を示す単語 ・スピーチコンテスト振り返り ・3年間の英語授業の振り返り	・AIは人間に勝てるのか?最近話題のAIを題材にした英文を読み取り、AIとの向き合い方などについて意見交換をする。 ・スピーチコンテストを振り返る。 ・3年間の英語の授業を振り返り、今後につなげていく。	・振り返り(Classi) ・グループ活動での取り組みの様子 ・ペアでの意見交換 ・ワークシートへの記入 ・小テスト	14
2月	・学年末考査 ・考査の振り返り		・考査の振り返り(Classi)	1
3月	・卒業式			

年間授業計画

東京都立五日市高等学校 令和5年度 教科：探究 科目：総合的な探究の時間 年間授業計画

教科： 科目：総合的な探究の時間 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～D組

使用教科書：『課題探究メソッド』（啓林館）

使用教材：『課題探究：SDGsを取り扱うためのワークシート』（PEN言語教育サービス）

	指導内容	科目総合的な探究の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・修学旅行事前学習発表会【クラス&学年】 ・沖縄修学旅行 ・修学旅行事後発表会準備	・沖縄修学旅行において、歴史・文化・食・環境・SDGs・言語等の数ある切り口から自分たちなりの問いを見つけ、現地でインタビュー・写真収集・情報収集などを行う。 ・事前に班ごとの探究テーマについて発表を行う。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・発表の様子	8
5月	・修学旅行事後学習発表会【クラス&学年】 ・修学旅行・体験の言語化（1分間スピーチ） 【地域探究】 ・地域探究ガイダンス 【進路探究】 ・小論文模試振り返り ・分野別進路ガイダンス	・沖縄修学旅行で各グループの探究テーマで得てきた情報を発表する。クラス内で前半発表し、学年コンテストを実施する。 ・沖縄で自分が撮った写真を元に、印象に残った点や写真に込めた想いを1分間でスピーチを行う。自分が体験したことを言語化できるようにする。 ・地域探究協働プロジェクトの内容を地域の方に紹介して頂き、自分が地域のためにできることを考える。 ・返却された小論文模試の事後講演会を聞き、自分の志望理由書をブラッシュアップする。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・発表の様子 ・積極的に学ぶ姿勢を机間巡回で評価	8
6月	【地域探究】 ・プロジェクト別地域探究ガイダンス ・地域の課題の共有 ・目標の設定 【進路探究】 ・面接実戦練習 【第1回フィールドワーク】 サマーランド・あじさい山での現場体験実習	・プロジェクト別に分かれて、地域の課題を共有、五高フェスでの目標の設定などを行う。 ・アジサイを通じた地域創成のプロジェクトの様子を見学し、自分たちが地域を盛り上げるために何が出来るかを検討する。 ・面接の注意点を学び、実際に面接の作法を実践してみる。面接練習をクラス内で繰り返し行い、互いに評価し合うことで、面接で自分の力を発揮する方法を学ぶ。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・フィールドワークでの積極的な取り組みの姿勢 ・面接練習への積極的な取り組み	8
7月	【地域探究】 ・五高フェスの実施計画 ・現地でのフィールドワーク 【進路探究】 ・求人票の見方 ・小論文対策 【第2回フィールドワーク】 Aチーム：甘茶の収穫体験 Bチーム：リパトレ&トラン体験 Cチーム：野外調理実習 【特別講演会】 ルワンダでの課題解決 ・振り返り	・五高フェスの実施計画を立てる。 ・現地に足を運んで、実際に体験活動を行いながら、データ等を収集する。 ・求人票の見方を学び、求人票が公開されたら、自分の志望企業をスムーズに決められるようにする。 ・フィールドワークでは五高フェスでの体験型ワークショップの実施に向けて、自分たちがまずは体験することで、実際に実現可能なアイデア等を出していく。 ・ルワンダで義肢装具士として活躍する日本人・ルダシグワ真美さんとルワンダ人のガテラ氏をお呼びし、ルワンダの内戦を経ての課題解決について学ぶ。グローバルな視点で物事を捉え、視野を広げられるようにする。 ・1学期に行ったことを振り返る。HP等に各プロジェクトの成果を公開する。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・フィールドワークでの積極的な取り組みの姿勢 ・ワークショップでの質疑応答 ・振り返りの記入（Classi）	10
8月	【夏季休業中】 ・各プロジェクトでの体験学習 ・外部講師による面接練習	・地域の方と協働してプロジェクトごとに体験学習を行う。 ・外部講師による面接練習を繰り返し、自信をつける。		
9月	【地域探究】 ・体験学習におけるデータの整理・分析 ・五高フェス準備 ・外部との調整 ・プロジェクト中間報告会準備	・体験実習で学んだことを整理し、データ分析などを行って課題を明らかにする。また、実習を通して実現できたこと等を五高フェスでどう生かせるかを考える。 ・五高フェスで協力して頂く方々へのアポ取りなどを行う。 ・各プロジェクトでの進捗状況をPPTなどにまとめて、発表する。	・グループ活動での取り組みの様子 ・発表準備	7
10月	【地域探究】 ・中間報告会 ・文化祭展：修学旅行川柳・五高フェスに向けた中間校報告会	・他のグループの発表を聞いて、意見交換をしながら、五高フェスを盛り上げていくために必要なことをディスカッションする。 ・五高フェスに向けた準備を地域の方と協働して行う。 ・当日のプログラム、必要な物資の買い出し等も行う。 ・文化祭では修学旅行後に作成した川柳の発表、探究プロジェクトの中間報告会の内容を発表する。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・発表への取り組みの様子	7
11月	【地域探究】 ・五高フェス準備 ・五高フェス（11月18日）	・五高フェスの準備、プロジェクトチームから運営スタッフ等を出して、役割分担などを決める。 ・地域の方への広報を行う。 ・実際に実施後の成果をまとめる。	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・準備への積極的な取り組みの様子	8
12月	【地域探究】 ・成果の分析・検証・今後の課題 ・成果発表会資料作成	・五高フェスを実施してみての結果分析を行い、今後の課題を言えるようにする。 ・発表資料を作成する。作成の際には以下の点に留意する。①地域の課題は何か（現状把握）②課題解決につながるために私たちに何が出来るか（できることのアプローチ：SDGsの目標の何を実現できるか）③私たちは何をすべきか（プロジェクトでできることを絞る）④どう実行に移すか（課題解決に向けた行動計画）⑤実行したことは何か（何ができたか）※フィールドワーク&五高フェスで実行したことなど⑥取り組みを振り返って課題は何か？	・グループ活動での取り組みの様子 ・ワークシートへの記入 ・発表準備への積極的な取り組みの様子	7
1月	【地域探究】 ・発表リハーサル ・学年発表 ・全校での成果発表会（1月23日） ・3年間の学びの振り返り	・相手に伝えることを意識して、見やすいパワポ資料の作成・魅力的な発表原稿の作成・伝え方の工夫などを学ぶ。 ・他グループの発表を見て、自分たちに取り入れられそうな良いことはどんどん取り入れていくようにする。 ・学年発表後、代表グループ（各グループ最低1チーム）が全校生徒の前で発表を行う。 ・3年間の探究学習を通して学んだこと、身に付けた力を振り返る。	・振り返り（Classi） ・グループ活動での取り組みの様子 ・発表の様子 ・ワークシートへの記入	7
2月	・学年末考査	授業無し		
3月	・卒業式	授業無し		